

株式会社トセキ北陸

◎ 事業所概要

企業名:株式会社トセキ北陸

代表者氏名:代表取締役社長 つちや まさる 土屋 勝

所在地:金沢市

業種:卸売, 小売業

労働者数:199人



◎ 行動計画

1 計画期間 平成23年6月1日～平成28年5月31日

2 内容

目標1 従業員が仕事と生活の調和を図れるよう年間総労働時間の短縮を目指す

目標2 地域に貢献する企業となるため、地域の若年者に対するインターンシップ等の就業体験機会の提供を行う

◎ 目標達成の状況

目標1 ・業務効率化を推進することにより、時間外労働を削減するため、残業、休日出勤をする場合は事前届出制とし、所属長の事前許可を以って実施。
その結果、1人あたりの年間総残業時間が平成23年度は85.03時間であったが、平成27年度は64.94時間と短縮した。
・年次有給休暇取得促進及び代休制度の積極的活用として、代休残日数、年休残日数を目に見えるようにし、残日数を所属長が確認。
代休については、取得計画表を作成して確実に取得。
また、所属長が毎月残数を確認後、部門朝礼や会議等で個別に取得するよう指示。

目標2 ・高校からの依頼により、インターンシップの生徒1名を受け入れた。
また、事業部門長あて大学生対象のインターンシップ実施のための事前調査を行うとともに、マイナビの活用や県内大学を訪問して学生に周知するなど、実施するための環境を整備し、インターンシップの大学生2名を受け入れた。

◎ その他の取組の状況

・小学校就学前の子を有する労働者は育児短時間勤務を利用できる。

企業からのひとこと

○ 行動計画に基づく取組にあたって工夫した点

実施に当たっては社員全体のワークライフバランス(仕事と生活の調和)の推進に資するため、効率的な仕事への改善による時間外労働の削減に力を入れ、残業マネジメント力を向上させることにより、年間総残業時間を抑制することができました。

今後も、メリハリのある働き方で、時間の有効活用を図れるよう、職場の雰囲気づくり・意識啓発を行っていきます。

○ 行動計画に基づく取組の効果・課題

年間総労働時間削減については、取組効果はありましたが、まだまだ削減できる余地があると考えております。残業事前申請制度導入による管理職の残業マネジメント強化が削減要因の一つと考えておりますが、これからは管理職の指導や制度導入に頼るのではなく、社員の時間に対する意識向上を図り、一人ひとりが主体的に時間マネジメントを行っていく必要があります。

○ 子の看護休暇を取得した男性社員の声

(管理部管理課・32歳)

今回は子どもの風邪のため看護休暇を取得しました。夫婦共働きのため妻も続けて休みづらい中、看護休暇制度を利用して子どもの看病をしました。妻から感謝され嬉しく思ったのと同時に、子どもの看護の大変さを改めて理解することができました。今後も夫婦協力して子どもの育児、看護をしていきたいと思っております。